

名大生の先輩が実際に使用していた 参考書・演習書を冊子にまとめました!!

理工系学生のための



理系科目の
参考書は
どれが良いの？

実際に
使ってみた
感想は？

名大生が
買っている
参考書は？



▶▶▶ SOS冊子で疑問解消!! ▶▶▶

数学編

集合・位相

入門

応用

問題

解説

試験

『いかにして問題をとくか』

ジョージ・ポリャ 丸善出版 ￥1,500



数学の問題をもとにして、問題の見方、解決の手法・糸口を見つけるための思考法を解説しています。意外と見落としがちな「問題は何か」という問いかけが印象に残ります。数学に限らず様々な場面で応用可能ですので、大学生活全般に役立つと思います。
※副読本として『実践活用編』もあります。
(理2年)

集合・位相

入門

応用

問題

解説

試験

『集合・位相入門 新装版』

松坂和夫 岩波書店 ￥2,600



友人が「この本はとても良い」と言っていたのをきっかけに出会いました。読んでみても感じることは、著者の親しさ。きちんとした日本語できちんとした説明が書かれています。“証明の細部まで丁寧に記述している”ということについても、数学書の中でトップクラスです。このような特徴を有した本なので、誤植はほとんどないですし、誤った命題・論理の飛躍は皆無です。この本を精読すれば、集合論と位相空間の正しい理解が得られ、数学を学ぶ上で大きな武器になるでしょう。(理3年)

微分積分学

入門

応用

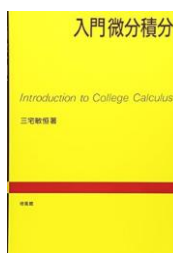
問題

解説

試験

『入門微分積分』

三宅敏恒 培風館 ￥2,100



微分積分の本は数多く出回っているが、これほどコンパクトな物は数少ない。例題が豊富でしかも解説もしっかりしているので、読んで理解できない部分はほとんどないと思う。例題が理解できれば、章末問題で解けない題もなく、本質を問う良問が多い。
(工3年)

線形代数学

入門

応用

問題

解説

試験

『基礎数学1 線型代数入門』

斎藤正彦 東京大学出版会 ￥1,900



値段の割に内容が豊富です。単因子論を使った線型代数の本はこれだけだと思います。自分で知識を作りたいなら、この本に書いてあることは最低限必要です。この本を1年生の5月頃から読み始め、本当に理解できたと思ったのは翌年の1月くらいでしたが、時間をかけて読む価値は充分あります。(工2年)

説明付きなので教科書としても使えますし、索引が詳しいので、困った時にも役立ちます。(理2年)

＜数学を本気でやる人のための線形代数の参考書！＞

この本は、線形代数をツールとして扱うのが前提の教科書とは違い、集合と写像の話から始まります。さらに、一つ一つの定理に厳密な証明が与えてあり、線形代数の本質にせまる参考書という印象を受けます。そのため少し体力がいるかもしれませんが、これを全て理解すれば有限次元の線形代数に関しては向かうところ敵なしです。数理学科生が2年次に学ぶジョルダン標準形や、関数解析の入門的な部分などもカバー。歴史のある参考書であり、親子二代で愛用しているという人も。長く愛されています。(理4年)

線形代数学

入門

応用

問題

解説

試験

『明解演習線形代数』

小寺平治 共立出版 ￥2,200



自分は1年後期、線形代数の講義には、実はほとんど出席していませんでした。が、この本を使って勉強したところ、試験では良い成績をとることができました。だれかの講義を受けている感覚で勉強できたのが大きかったと思います。二色刷りで見やすく、テスト勉強も楽しくできました。(工3年)

線形代数学

入門

応用

問題

解説

試験

『線形代数の世界』

斎藤毅 東京大学出版会 ￥2,800



この本は「ワールド」という通称を持つ線形代数の参考書です。線形代数の入門書からさらに一歩進んで、双対空間、商空間、テンソル積などの抽象的な話題に重点が置かれています。そのため、基本的なところから書かれてはいるものの、他の線形代数に関する本と比べるとレベルは若干高めです。「定義」「定理」と同じようなリで出てくる筆者の「余談」にも興味深いことがたくさん書かれており、買って絶対に損はしない1冊です。(理4年)

『スバラシク実力がつくと評判の線形代数キャンパス・ゼミ』

馬場敬之 マセマ出版社 ￥2,380



高校時代について疎かになってしまっていた「行列」のせいで、線形代数に最初から苦手意識を持ってしまう人もいます。自分もその一人でした。この本では、語り口調の解説と、問題を解き進めていく中で「今、自分が何をしているのか」が分かる懇切丁寧な説明が示されており、数学嫌いな君も理解しながら解き進められますよ！（農3年）

読者に話しかけるような感じで分かりやすい説明の後、詳しい解答付きの演習問題があり、学んだことをすぐ実践できるので身につけやすくなっています。私は1年生の12月頃に購入しました。線形代数が全く分からない人がまず取りかかるには最適な本です。（工4年）

抽象的でとっつきにくい線形代数に、具体例を通じてやさしくアプローチしてくれています。また、計算の演習にも使えるので、1年次に特に有効だと思います。この本で大体の全体像をつかみ、詳しい専門書にとりかかることをオススメします。（理2年）

解析学

『ルベグ積分入門』

吉田伸生 日本評論社 ￥3,600



非現実的で難解な測度論まわりの知識を最低限にとどめ積分論を学べる良著。私自身、測度論では挫折してルベグ積分論をあきらめていたのだが、本書に出会えたおかげで今まで理解できなかったのが不思議なぐらい内容が身についた。これからルベグ積分論を学ぼうとする人にはもちろん、一度挫折してしまった人にもすすめたい一冊。演習量も多く、自習が捗る。（理修士1年）

あなたのおすすめ 参考書・演習書を 後輩に 紹介してください！



どの参考書が
良いのかな……
悩むなあ……

お寄せ頂いたコメントは以下の用途に活用させていただきます。

1. 「SOS 冊子」(先輩オススメ参考書冊子)へ掲載
2. 店頭、生協HPにて掲載

掲載採用された方に

BOOK
30% OFF
COUPON

プレゼント!!

アナタのおすすめ参考書を
同じ学問を志す皆さんに
伝えてみませんか？

応募方法の詳細はQRコードからご確認ください▶▶▶



物理学編

物理

入門

応用

問題

解説

試験

『ファインマン物理学 I～V』

ファインマンほか 岩波書店 各¥3,200～¥4,300



高校で物理を学ばなかった人でも、丁寧な記述により大学の物理の知識が得られます。主著者のファインマンは、1965年に朝永振一郎らとともにノーベル物理学賞を授賞しました。愉快的自伝『ご冗談でしょうファインマンさん』でも有名な物理学者です。(理4年)

話題が豊富。異色のテキストです。必ずしも系統的に書かれているわけではありませんが、とにかく読んで楽しいです。物理の面白さを伝えたいというファインマンの意図は、充分成功していると思います。(工4年)

物理

入門

応用

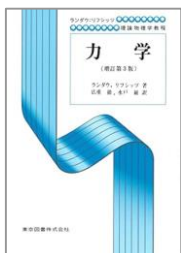
問題

解説

試験

『ランダウ=リフシッツ理論物理学教程』

ランダウ、リフシッツ 東京図書、岩波書店



ランダウは物理学全体を十分に俯瞰できただけでなく、教育的配慮にも長けた学者なので、理論物理などを志すなら大教程に一度真剣に取り組んでみてほしいと思います。物理の本物のセンスが身につくと思います。(理4年)



理論物理学教程（大教程）の翻訳は、現在下記の2点が入手可能です。

東京図書『力学』

¥2,000

東京図書『場の古典論』

¥3,000

※英語版は上記以外も在庫しています。

また、小教程と呼ばれる、入門編の書籍は下記の2点が入手可能です。

ちくま学芸文庫『力学・場の理論』

¥1,500

ちくま学芸文庫『量子力学』

¥1,700

力学

入門

応用

問題

解説

試験

『基幹講座物理学 力学』

益川敏英 東京図書 ¥3,000



この本は物理学を学び始める人に読んでほしい1冊です。物理学を学ぶ上で重要な概念が丁寧に説明されており、力学に必要な数学もまとめられています。なので初学者に優しく、高校卒業したての1年生でも予備知識なしで読めると思います。また、多様な例やユニークな演習問題、好奇心をそそるコラムなどを通して力学現象を直観的に理解しやすくなっています。加えて、断熱不変量や自励振動、相互同期など発展的な話題も扱っているので、既学者にもオススメです。(理4年)

解析力学

入門

応用

問題

解説

試験

『基幹講座物理学 解析力学』

益川敏英 東京図書 ¥3,000



第1～8章では、最小作用の原理の導入からHamilton-Jacobi理論まで解析力学の要所を押さえており、物理学科の必修科目「解析力学Ⅰ」を包含しています。第9～11章は、微分形式や場の理論など高度な内容になっていて上級者向きです。全体的に簡潔かつ丁寧に解説されており、解析力学の理論体系の美しさが伝わってきます。要点がまとまっていて使いやすいので、既学者の復習用にも適していると思います。解析力学（古典力学）は量子力学を学ぶ上で大切な基礎になるので、この本で理解を深めてほしいです。(理4年)

電磁気学

入門

応用

問題

解説

試験

『理論電磁気学』

砂川重信 紀伊國屋書店 ¥4,200



第一章のみでマクスウェル方程式を概観し、章別に条件や考察の対象を変えることで（時間変化の有無や、電場、磁場または電流など）この一群の式に対する理解を深めていくようになっています。特殊相対論と変分理論、解析力学、さらに付録には便利な物理数学のまとめも載っていて、物理をやる人にありがたい一冊。単に実用的なだけでなく含蓄ある記述が多く、そして論理もわかりやすい好著です。(理4年)

熱・統計力学

入門

応用

問題

解説

試験

『熱力学 現代的な視点から』

田崎晴明 培風館 ¥3,700



この本は東大や京大でも推薦されており、非常に評価が高い本です。私が思う良い本というのは①予備知識が最小限に抑えてあり、②それでいて厳密性を損なわず、③本質を伝えてくれるものだと思う。この本はこれらの条件を満たしつつ、熱力学の美しさを伝えてくれる。文系の方でも興味があれば読めると思う。(理博士1年)